

総合産業高校での学科連携をととした職業人育成

R7.7.23 安曇野懇話会

福井県立坂井高等学校
校長 清水一広

1

福井県の総合産業高校

H23 奥越明成高校（大野東＋勝山南）

工・福 → 工・商・家・福

H25 若狭東高校（若狭東＋若狭）

普・農・工 → 農・工・商

H26 坂井高校（坂農・春工・金津・三国）

農 → 農・工・商・家

R02 武生商工高校（武生工業・武生商業）

工 → 工・商

2

福井県立坂井高校の概要

福井県最大級の総合産業高校（プロ人材高校）

4学科8コース

- ・農業科2コース
- ・工業科4コース
- ・商業科1コース
- ・家庭科1コース

各コース1クラス 定員32～33名

※総合産業高校とは、福井県における多学科を擁する専門高校の呼称

3

福井県立坂井高校の概要

平成26年度(2014)開校

坂井農業高校、春江工業高校、
金津高校経理科・情報処理科、三国高校家政科の4校を統合
福井県北部の県立高校4校中、唯一の職業系高校

令和3年度～令和5年度

マイスター・ハイスクール事業指定

令和6年度～令和7年度

マイスター・ハイスクール普及促進事業拠点校

4

福井県立坂井高校の概要

校長着任時(令和5年度)

マイスター・ハイスクール**最終年度**

全国産業教育フェア福井大会

(**さんフェア福井2023**)

ところが、、、

5

校長**着任時**(令和5年度)の問題

教員の認識

4学科8コースの**寄せ集め**



坂井高校の**弱み**

6

着任時の問題

- ・ **定員割れ**、生徒の学力、モラルの低下
 - ・ 問題行動への対処、保護者対応の難しさ
 - ・ 新学習指導要領への対応(3観点評価)
 - ・ マイスターや全国産業教育フェア
 - ・ 働き方改革
- 教員に蔓延する**徒労感・疲弊感**

悪循環が悪循環を呼ぶ状況

7

令和5年4月20日 職員会議

宣言「悪循環を好循環に**逆転**させる」

- ・ 生徒が**バケ**る学校、坂井高校もバケる
- ・ 生徒への「支援」、**生徒を前に**、
生徒をどう「**もっていく**」か
- ・ **授業改善**

あらゆる活動で生徒が主語の学校

(授業、部活動、マイスター、課題研究**探求**化、さんフェア)

授業で**自己肯定感**が上がれば問題行動は減る

眠れない授業、発問の工夫、アウトプットの授業、振り返り

8

職員会議

「手段を目的化しない」

- ・マイスター・ハイスクールは「手段」
- ・産業教育フェア福井大会も「手段」
- ・資格検定も「手段」
- ・校内外のイベントは全て「手段」

評価は「生徒が前面に出ているか」
・・・やらされ感があるものは？

9

職員会議

なぜ「学び」なのか

- ・「学習」と言わなくなった
- ・主体的・対話的で深い学びとは
- ・**本当の学力**はテストで測れない
- ・共通テストから自由な本校こそ
新学習指導要領の**完全実施**が可能
- ・校訓「自主・**協働**・創造」

10

職員会議

教師の**役割**が変わった

- ・知識の伝達者（**上から下**）から
学びの伴走者（**横**）へ
- ・教師の関与で最も重要なのは
主体性を持たせる「**しかけ**」
いかにして**モチベーション**を上げるか
自己肯定感を持たせるか
生きた人間との**関わり**が必要

11

職員会議

学科間連携を進める

- 「8コースの寄せ集め」弱点か？
- ・1年生にはコース間授業を実施
- ・**多様な人々との協働**で生徒が育つ
- ・各コース課題研究で必ず一つは連携を
- ・ビジネスコース(商業科)を**ハブ**に
→生徒の**変容**を教員が体感する

12

学校改革の考え方

- ・ **ピンチ**をチャンスに
- ・ **生徒**の目線で
あらゆる産業を学べるのは**強み**
- ・ R5 マイスター・ハイスクール最終年度
- ・ R5 産業教育フェア福井大会
- ・ R4 新学習指導要領実施
- ・ R4 (改定版)生徒指導提要
- ・ R5 不祥事対応

13

高等学校学習指導要領 p.17 「前文」 一部抜粋

これからの学校には、こうした教育の目的及び目標の達成を目指しつつ、一人一人の生徒が、**自分のよさや可能性を認識**するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、**多様な人々と協働**しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる。このために必要な教育の在り方を具体化するのが、各学校において教育の内容等を組織的かつ計画的に組み立てた教育課程である。

教育課程を通して、これからの時代に求められる教育を実現していくためには、**よりよい学校教育を通してよりよい社会を創る**という理念を学校と社会とが共有し、それぞれの学校において、必要な学習内容をどのように学び、どのような資質・能力を身に付けられるようにするのかを教育課程において明確にしながら、**社会との連携及び協働**によりその実現を図っていくという、社会に開かれた教育課程の実現が重要となる。

14

坂井高校型総合産業高校

- ・ 県内**定着率**80%
地元に残る生徒たちをどう育てるか
- ・ 新学習指導要領の**完全実施**
3つの観点で生きる力を育てる**授業デザイン**
生きる力＝認知能力＋**非認知能力**
- ・ **改訂**生徒指導提要にもとづく生徒支援
全ての授業で**自己肯定感**を高める**しかけ**

15

坂井高校型総合産業高校

総合産業高校と総合学科はどう違うのか

- ・ 各科目専門コースの**専門性を堅持**
他コースの科目履修・転コースはできない
- ・ 学科連携は「**探究的**課題研究」で
他コースの専門性をリスペクト
教員は伴走者(青は藍より出でて藍より青し)

16

生徒がバケる学校

- 主体的に学ぶとき、生徒はバケる
多様な人々との協働的な探究の学びを
しかけたとき、
生徒は「主体的に活動する生徒」へ変わる
自己肯定感・自己有用感を育む学校

生徒がバケる学校

- 先生方の経験を理論的に支える
外部との連携を通じた実践的な指導は？
生きる力を評価する授業デザイン
効果的なICTの利用
発達支持的生徒指導(改訂生徒指導提要)

生徒がバケる学校

- 坂井高校がバケた
生徒の表情が変わった
「専門8コースあるのが強みです！」
地域(コンソーシアム)の見方が変わった
保護者の評価が変わった
先生方の表情も変わった

生徒がバケる学校

- R7年度キャッチフレーズ

生徒を前に
生徒を外に

坂井高校の課題

- ・ **中学校**の生徒・保護者・教員の意識改革
- ・ **定員割れ**(県立4校全て)
でも・・・

参考 中学校へのPR

おわりに

普通の教師は「必要なことをただ話す」
良い教師は「わかるように説明する」
優れた教師は「自らやってみせる」
そして
偉大な教師は「**生徒の心に火をつける**」

ウィリアム・アーサー・ウード
(アメリカ・教育者)

坂井高校で**バケ**る

Well Beingとは？

ライフデザインから
なんとなく
でいいのかな？

坂井高校でバケる

1 探究的学びでバケる

- ・ **多様**な人々との**協働**的な学びにより生徒たちが**主体的**に動く
- ・ 社会に**通用する力**が飛躍的に伸びる
- ・ **楽しく**学ぶ

25

坂井高校でバケる

1 探究的学びでバケる

- ・ 学力とは、**認知能力** + **非認知能力**
坂井高校では**テスト**の点数は**半分**
コミュニケーション力、主体性、自己効力感、学び続ける力などを評価
- ・ 坂井高校は**非認知能力**を**伸ばす**学校

26

坂井高校でバケる

1 探究的学びでバケる

ハイレベルな研究を支える専門的設備
(無菌室・**販売**免許・レーザー加工)
企業や大学・自治体との連携・協働
専門教員(大学院・企業経験者)

27



28

参考 坂井高校コンソーシアム

29

坂井高校コンソーシアム

(目的)

総合産業高校としての坂井高等学校において、**産学官の連携**の下、地域の課題と地元企業の価値を理解した地域産業を担う人材の育成とその資質向上を図り、もって地域産業の持続的な発展に資する職業教育の新たな体制を確立することを目的とする。

30

坂井高校コンソーシアム

(事業)

- (1) 「ふくい産業」の**授業を学校と会員企業が協働で創る**
- (2) 会員企業への訪問研修
- (3) 会員企業による出前授業
- (4) 学校と会員企業との連携による課題研究活動
- (5) 会員企業への短期生徒派遣
- (6) 新たなカリキュラム開発
- (7) 地元の小・中・高校とのキャリア教育に係る交流・連携推進
- (8) 福井県嶺北エリアの職業系高校との交流・連携推進
- (9) その他、学校と会員企業との連携による人材育成に関わる事項

31

坂井高校コンソーシアム

(会費および運営財源)

会員の会費は**無料**とする。

本コンソーシアムの運営財源は、坂井高校PTAによる負担金および自治体・各種団体等からの助成金、寄付その他収入をもって充当する。

32